

古墳時代：水場遺構

水場遺構は、河川が入江のように湾入した谷地形と、その縁を掘削した、階段状の昇降口から成ります。谷の中心部には、杭と板材を組み合わせた木組みの施設が見つかりました。その性格については、よくわかりませんが、多量の板材や農具が発見されていることから、**栈橋**や木材を加工するための作業場などが考えられます。



…Hr-FA 榛名二ツ岳火山灰

水場遺構は、その後、捨てられた木材や河川の氾濫土によって次第に埋没してしまいました。谷の断面をみると、埋没する過程で、榛名山二ツ岳の火山灰が堆積していることが明らかになりました。

噴火が起こったのが、古墳時代後期(およそ1,500年前)頃であることから、水場遺構や遺物はそれ以前のものであることがわかります。



木組み施設(北東から)



木組み施設(南から)
杭列に板を差し込むようにして造られています。



たくさんの木製品が腐ら
ずに残っていました。

水場遺構から出土した土器や木製品



ひろくちつぽ
広口壺



こがたつぽ
小型壺



かん
埴



完成品 未成品

くわ
鍬 土を耕す道具です。
まだ穴が開けられていないことから、製作途中であることがわかります。



えぶり
土をならす道具です。



よこづち
横槌 穀物をついて脱穀する道具です。



だっこく

久喜市菖蒲町

平成25年度 第3回遺跡見学会
平成25年 7月27日(土)

水田の下で発見された古墳時代前期の方形周溝墓と水場遺構

おばやしはっそく

小林八束1遺跡(第3・4次)



第3・4次調査区

第2次調査区
(平成22~23
年度調査)



おばやしはっそく

小林八束1遺跡では、小林調節池の改修工事に先立ち、発掘調査を行っています。遺跡は、大宮台地と加須低地が接する地域に位置します。現在、周辺は水田の広がる平坦な景観となっていますが、調査の結果、古墳時代前期以前は台地と谷が複雑に入り組む、起伏にとんだ地形であったことが明らかになりました。

今回の調査で発見された遺構は、縄文時代後期の住居跡、古墳時代前期の水場遺構、住居跡、方形周溝墓などです。



主催
共催
協力

埼玉県教育委員会
久喜市教育委員会
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団



ほうけいしゅうこうぼ
古墳時代：方形周溝墓

方形周溝墓は、弥生時代から古墳時代に造られたお墓です。溝を四角く掘り、その内側に盛り土をします。死者は盛り土に掘られた穴に埋葬されました。本遺跡のように盛り土が残ることは稀で、貴重な例といえます。



ろあと
炉跡

炉跡から出土した縄文土器



じゅうきよあと
住居跡

住居跡は円形で、小さな柱穴がたくさん並んでいます。掘り込みがわずかに残っていました。住居跡のおよそ半分は、古墳時代前期に水場遺構を掘削する際に壊されていました。

縄文時代

小林八束1遺跡では、これまでの調査で縄文時代早期から晩期の遺構や遺物が発見されています。今回の調査では、縄文時代後期の住居跡、炉跡などが発見されました。

- …住居跡など (縄文時代後期) (およそ4,000年前)
- …水場遺構 (古墳時代前期) (およそ1,700年前)
- …住居跡 (古墳時代前期) (およそ1,700年前)
- …方形周溝墓 (古墳時代前期) (およそ1,700年前)



第1次調査区
平成19年度調査



ミニチュア土器

方形周溝墓の周溝から出土した、手づくねの土器です。葬送の際に使われたのでしょうか。



どだま土玉



かん罎

盛り土の上に供えられた土器が周溝に落ちたものと考えられます。



つぼ壺

壺の底は、故意に打ち欠かれています。



6号方形周溝墓



3号方形周溝墓 盛り土の高さは、およそ80cmです。



5号方形周溝墓 周溝からは土器が発見されました。

じゅうきよあと
古墳時代：住居跡

古墳時代の住居跡は、調査区の広い範囲にわたって分布しており、大規模な集落であったと考えられます。一部の住居跡が方形周溝墓に壊されていることから、集落跡の方が古いことが明らかになりました。生活の場から、墓域の場へと変化したことがうかがえます。



住居跡には、当時の人々が日常生活に使用した土器が残されていました。